

会 議 録（要 旨）

会 議 名	庁 議
開 催 日 時	令和4年9月30日（金）午前10時25分～午前10時56分
開 催 場 所	301会議室
出席者及び 欠 席 者	出席者：市長、副市長、教育長、企画財政部長、総務部長、市民部長、 協働推進部長、協働推進部環境担当部長、健康福祉部長、健康 福祉部高齢・障害担当部長、子ども家庭部長、都市整備部長、 教育部長、学校教育担当部長、議会事務局長、会計管理者 欠席者：都市整備部建設管理担当部長 説明員：財政課長
議 題	1 令和5年度予算編成方針について 2 その他
結 論 （決定した方 針、残された問 題点、保留事項 等を記載する。）	議題1：原案のとおり決定する。 議題2：「令和5年度予算編成方針」については、10月3日（月）に 依命通達として、各部長宛に送付する。 令和5年度予算編成事務説明会については、昨年度と同様に書 面開催とする。 令和5年度予算編成事務要領等の配布は10月3日（月）、予 算見積書の提出期限は10月31日（月）を予定している。
審 議 経 過 （主な意見等を 原則として発言 順に記載し、同 一内容は一つに まとめる。） （発言者） ○印=構成員 ●印=説明員	議題1 令和5年度予算編成方針について （企画財政部長説明） 本日、御審議いただく令和5年度予算編成方針（案）については、 武蔵村山市予算事務規則第8条第1項の規定により、市長の命を受け て、会計年度ごとに定めるものである。 令和5年度予算編成方針（案）については、財政課長が朗読する。 （財政課長） —令和5年度予算編成方針（案）について朗読— —補足説明— 資料2「令和5年度予算編成方針（案）の前年度との比較」に基 づいて補足説明をさせていただく。各項目の構成は、昨年度と変更 はない。 1ページの「月例経済報告」については、例年9月に発表された ものに入れ替えているが、令和4年9月分の公表日が本日であるた め、8月分を記載している。本内容については、公表後に差し替え をする。 「新型コロナウイルス感染症及び物価高騰による経済への影響」 については、昨年度は「新型コロナウイルス感染症の感染状況と経 済への影響」としていたが、経済への影響が、現在は物価高騰によ るものにシフトしてきていることから、表題を変更し、最近の感染

状況等を記載するとともに、物価高騰の状況についても記載している。

2ページのGDP 2次速報値は、令和4年4～6月期に入れ替えている。

「国の令和5年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針」と「東京都の令和5年度予算の見積方針」については、令和5年度予算のものに入れ替えている。

3ページの「本市の令和3年度普通会計決算概要」については、令和3年度普通会計決算の内容に入れ替えている。具体的には、市税収入が減少したこと、経常収支比率の改善は交付税の追加交付があったことによる一時的なものであること等を記載している。

4ページの「予算編成の基本方針」については、国の方針により社会経済活動が維持できるようになり、コロナ禍前の状態に近づいていくことが予想されること、ウクライナ情勢の長期化等に伴う物価高騰の影響が不透明であること、多摩都市モノレールの市内延伸等に伴う財政支出が今後数年間で大幅に拡大すること等を記載している。

また、昨年度に整理した4つの重点課題は変更していないが、第一の多摩都市モノレールの市内延伸について、大きく進展した最近の動向を記載するとともに、第四の持続可能な行政運営について、ゼロカーボンシティの実現とDXを強力に推進する旨を記載している。

5ページの「1 基本的事項」については、昨年度と同内容である。

6ページの「2 歳入」について、(1)は時点修正、(2)は昨年度と同内容、(3)は補助事業の増に伴い、国都支出金の過年度返還金が増大しており、事業年度の翌年度に財政調整基金を取り崩すなどして返還しているため、財政運営に大きな影響を及ぼしていることから、補助事業費の精査について追記している。

7ページの(4)は、今後数年間で都市整備部所管の事業費等が大幅に増加していくことから、ある程度の市債の発行は行わざるを得ないため、「市債と事業費総額とのバランス」について留意する旨を追記している。

「3 歳出」について、(1)は時点修正、(2)は昨年度と同内容、(3)は消耗品費についての取扱いを追記、(4)は令和5年度も1億円キャップ制を導入するが、時間外抑制に重要な視点である「ワーク・ライフ・バランス」を追記している。

8ページの(5)は、物価高騰による影響に伴う予算の取扱いについて、新たに記載している。

(6)は、ゼロカーボンシティ及びDX関係の予算の取扱いについて、新たに記載している。

「4 特別会計」及び「5 公営企業会計」は、昨年度と同内容である。

次に、資料3について補足説明をさせていただきます。

表面上段の表、一番右側「個人市民税」について、市民1人当たりの額は26市中最下位で、最上位の武蔵野市の約4割、下段の表、中央「扶助費」は26市中最上位で、最下位の多摩市の約1.4倍となっており、2位との差も年々拡大している。

裏面上段の表、一番右側「財政調整基金現在高」については、昨年度の2万2,651円と比較して約7,500円増加したが、今後、都市整備関連の事業費の増大により、多額の取崩しを行う必要があることから、財政課としては、安定的な行財政運営を行っていくためには、この水準をできる限り維持していく必要があると考えている。

(質疑等)

○ 予算編成方針(案)6ページの(6)について、DXの推進に伴う記述が追加されているが、システムのカスタマイズによる経費についても、DX推進の一環として、積極的に要求して構わないということか。

また、DXの推進については、政策的な事業になると思うが、実施計画事業として要求していない事業についても、見積書を提出し、予算要求していいのか。

● システム改修等については、DXに結びつくようなものであれば積極的に要求していただきたいが、財源確保の問題もあるため、要求のあった内容については財政課で査定をし、判断させていただければと考えている。

実施計画に登載していない事業でも、新たなDXの推進事業として予算化したい事業があれば、予算要求と併せて、実施計画調書を提出していただきたい。

○ 市として重点的にDXの推進を進めていく上で、大きな経費がかかる場合、DX推進本部の中で検討が進められていくと思ったのだが、予算については、査定の中で進められていくという考え方でいいか。

● 予算とDX推進本部の両方で推進していく方向で考えている。

(結論)

原案のとおり決定する。

議題2 その他

(企画財政部長)

ただいま、承認をいただいた「令和5年度予算編成方針」については、10月3日(月)に依命通達として、各部長宛に送付させていただく。

なお、令和5年度予算編成事務説明会については、昨年度と同様に書面開催とさせていただく。

このため、各部長においては、所属職員に対し、予算編成方針に沿った的確な予算見積りがなされるよう、御指導をお願いする。

	また、令和5年度予算編成事務要領等の配布は10月3日(月)、 予算見積書の提出期限は10月31日(月)を予定しているため、 よろしく願います。
--	---

会議録の開示 ・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開 示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等 :) <input type="checkbox"/> 非 開 示 (根拠法令等 :)
------------------	--

庶務担当課	企画財政部 企画政策課 (内線 : 372)
-------	------------------------

(日本産業規格A列4番)